観光客受入を強化
～甲子園歴史館～

バックスクリーンビューからの甲子園球場

兵庫県西宮市にある阪神甲子園球場が台湾映画「KANO」の舞台となったことをきっかけに、主に台湾からのインバウンド客の誘致をスタートした。台湾映画「KANO」は国内での公開も年末に予定されている。国内からも台湾映画「KANO」ゆかりの地である甲子園と甲子園歴史館への来場者増加が期待されている。甲子園歴史館は、一般個人向けの見学施設だけではなく、団体向けプランやスタジアムツアーなど魅力的な着地観光商品も設定している。今回は一般旅行商品や教育旅行に採用できるプランを中心に紹介する。

高校野球ゾーン

阪神タイガースゾーン

甲子園歴史館の概要

甲子園歴史館は、2010年3月14日に阪神甲子園球場の外野スタンド内にオープンした阪神電気鉄道が運営する野球を中心とした博物館。前身は、阪神タイガース史料館。延床面積は約1900平方メールを誇る甲子園歴史館は、高校野球、阪神タイガース、甲子園球場の歴史を一堂に集め、甲子園球場を舞台に繰り広げられた数々のドラマを後世に伝え、日本の野球文化振興と野球ファンの裾野拡大に貢献する目的で開館された。

おもに甲子園球場を本拠地とするプロ野球チーム「阪神タイガース」、高校野球（全国高等学校野球選手権大会、選抜高等学校野球大会）、大学アメリカンフットボール大会「毎日甲子園ボウル」の歴史や関連物品などが展示されている。

高校野球ゾーン

歴史館、は建物2階へ進むと展示が始まる。最初の展示ゾーンは「聖地への誘い」。日本高等学校野球連盟最大加盟校数と同じ4523の硬式球で構成された「ボールウォール」があり、その硬式球には、甲子園出場経験のある学校の校名が記される。

「名勝負ギャラリー」は高校野球の甲子園夏の大会や春の選抜の大会の名勝負や名シーンを展示物などで紹介。「コレクションギャラリー」では、甲子園に旋風を巻き起こした高校のユニフォーム（レプリカ含む）やグラブなどを展示。近年のものでは、ダルビッシュ有投手の高校時代のグラブも展示されている。

阪神タイガースゾーン

「ヒーロー列伝」では、タイガースの往年の名選手である藤村富美男、村山実、吉田義男ら永久欠番選手を中心に、球団の歴史を紹介。「歓喜の瞬間」は、ユニフォームや貴重な1985年日本一優勝ペナントなど、タイガース優勝にまつわるものを展示している。また3人の優勝監督である吉田義男、星野仙一、岡田彰布の各氏を紹介。

トークショー

スタジアムツアー

バックスクリーンビュー

歴史館から屋外階段を使って、スコアボードの真下の展望スペースに出られる。バックスクリーンの前から球場全体を眺められることもあり、記念撮影スポットにもなっている。

プロ野球の試合前の練習時間と重なった場合は、目隠しとして、可動式スクリーンが並べられ、スクリーンにある、のぞき穴から球場を観賞する（試合中は閉鎖）。

ウェルカムビジョン

カレープラン

バックスクリーンウオーク

「なつかしの選手名板」は、1983年まで使用されたスコアボードの手書きの選手名板を展示。タイガース以外にも、他のセ・リーグ球団所属選手の選手名板も展示。記念撮影スポットにもなっており、バース、掛布、岡田の3選手が並ぶ位置と、他球団では王、長嶋両氏の並ぶ位置が人気となっている。

その後は、高校野球春、夏の大会の全トーナメント表などの展示が続き、「まんがと甲子園」コーナーへと続く。水島真司氏の「ドカベン」や、あだち充氏の「タッチ」などについて、直筆サインや名場面を大型パネルで紹介している。

スタジアムツアー

スタジアムツアーは、11コースを設定。催事によりコースが決められている。タイガースOB参加スタジアムツアーでは、スタジアムツアー14：00発のR1コースの途中で、タイガースOBが登場し、球場や練習に対しての解説をして貰える特別なもの。登場するOBは、日替わり。

ツアーコースは、R1コース（阪神タイガース練習見学付きスタジアム見学コース）と同コース。雨天時でもツアーは行われ、練習見学の替わりにスタンドでOBによるミニトークショーが行われる（行われない場合もある）。定員は1便50人まで（先着順）。料金は通常のスタジアムツアー料金と同じ。

団体向けスタジアムツアー

通常のスタジアムツアーのコースに加え、団体予約ならではのオプションが組み込み可能。

オプションは、「講演会・トークショー」「弁当プラン」「カレープラン」「ウェルカムビジョン」。

「講演会・トークショー」は、歴史館併設の多目的ホール（定員70人）で歴史館スタッフやボランティアガイド、スケジュールが合えばタイガースOBが講師を務める。講師によって、料金が異なるため、要問い合わせ。

「弁当プラン」は、グランドを眺めながら、スタンドで弁当を食べることができるプラン。料金は、選んだ弁当の内容による。また弁当の種類も豊富。スタンドは、ネット裏のグリーンシートで、所要時間は約50分で入退場時間も含む。

「カレープラン」は、甲子園球場名物の「カレーライス」を、球場内にある「関係者食堂」で食べられるプラン。料金は、ワンドリンク付きで1人700円。

「ウェルカムビジョン」はスタジアムツアー中に、甲子園球場のスコアボードに団体名を明記した映像を映し出すサービス。フレームデザインは、12種類ある。料金は、1万2千円（税込）。

日程によって見学できない場所や、組み込み可能なオプションもあるため、条件などは甲子園歴史館と打ち合わせが必要。

ドラフト指名体験コーナー

プロ野球ドラフト体感コーナー

プロ野球のドラフト指名を体感できるコーナーで、プロ野球12球団の中から好きな球団とポジションを選び、自分の氏名と出身校などを入力すると、本物のドラフト会議と同じ画面が表示され、記念撮影が可能となっている。

問い合わせ先
甲子園歴史館
〒663-8152
兵庫県西宮市甲子園町1-82
外周16号門横
TEL 0798-49-4509
http://www.koshien-rekishikan.com/

開館時間
[3月1日～10月31日]
10時～18時（入館は17時30分まで）
[11月1日～2月末日]
10時～17時（入館は16時30分まで）
休館日は、年末年始、毎週月曜日。
月曜日に限り、プロ野球や高校野球の試合開催日と祝日が月曜の場合は開館

入館料
おとな（高校生以上）一般500円　団体400円
こども（4歳以上中学生まで）
一般300円　団体200円
※4月8日から大人料金が600円に改定される。団体料金は、20人以上で事前に予約を済ませる必要がある。